

新型コロナウイルス対応について再開時の感染防止策

1. 施設スタッフの感染防止対策

《エコハウス 138》

■スタッフの健康管理

- 出勤前の検温及び体調確認の実施し、検温結果は健康チェック表に記載、異常(37.5 度以上の熱等)が見られる場合には、出勤を停止します。
- スタッフの家族等、近親者に感染者や感染者への接触があることが判明した場合は、出勤を停止し、速やかに関係機関への連絡を行うとともに、他のスタッフとの接触について正確な実態把握を行います。

■勤務中における対策

- 勤務中はマスク着用し、手洗い、うがい等を実施するとともに咳エチケットを守ります。
- 利用者の列が想定される受付前には立ち位置の目印を設置(できるだけ 2mの間隔を保つ)します。
また、受付窓口にはアクリル板やビニールカーテンでの仕切りを行います。
- ボールペン等の共有物品の随時消毒をします。
- 貸出備品については、施設使用都度消毒いたします。
- 各出入口及び各階に消毒剤を設置します。

2. 施設利用者へのお願い

施設HP、施設出入口、館内掲示等にて利用者へ、感染拡大及び予防対策のご協力をお願いします。

- 手洗いや備え付けの消毒液にて手指消毒をお願いします。
- 咳エチケットの協力をお願いします。
- マスクの着用をお願いします。

3. 施設内感染防止対策

- 自動扉や窓を開放して館内の換気を強化します。また、空調稼働中であっても換気のため開放を行う場合があることの承諾を得ます。
- 「三つの密」にならない、感染予防のための咳エチケット、手洗い、消毒の徹底、社会的距離の確保など注意喚起を館内放送にて定期的の実施いたします。
- 館内のドア、手すり、トイレの蛇口、スイッチなど手が触れる箇所については、清掃(こまめな拭き掃除)及び消毒の実施をします。(巡回清掃の実施。清掃実施表を作成)
- 館内の机、椅子の数を減らし、間隔を開けて利用するように案内します。
- 新聞の設置を中止します。

◆プール

- スイミングキャップ、ゴーグル等のレンタル用品(ビート板を除く)を中止します。
- 採暖室、ジャグジーの利用を中止します。
- ロッカーの数を制限し、密を避けます。
- 更衣室の自動扉を常時開放します。
- プール場内の換気窓を開放します。
- 利用者のマスク着用は不可としますが、スタッフは許可します。

◆トレーニング

- 自動扉を常時開放します。
- 換気窓を開放します。
- 飛沫防止シートを設置します。
- エアロバイクの数を制限します。
- 入場制限が出た場合は、整理券を配布し休憩コーナーでお待ちしてもらいます。
- 各器材に消毒液とペーパータオルを設置します。

◆貸館

- 6月中のエコホール、体験学習室の利用を禁止します。
- 7月からの利用はエコホールの定員40人、体験学習室の定員は10人とします。
- 7月からの利用時に参加者の体調チェックリスト及び、感染防止案内を配布します。

◆自主事業

- 自主事業教室の開催は7月を予定しております。
- 自主事業教室の定員をエコホール19名、スタジオ15名、体験学習室10名とします。
- 卓球の稼働は各部屋3台とし、レンタルラケットは返却時に消毒します。
- イベントは密を防ぎながら開催します。